

勤善懲惡錦画新聞

官詠

第廿二號



大阪第二大區下小區
 東阪町六番地元泉平更
 本田平三良母おとまりやある性質うふ
 六十八歳おとまりやある性質うふ
 何事の憂少事有と去る六月十日の
 夜ト家出して行衛志る平三良ハ
 養子なり西阪町増田弥共其の母ト
 二才の時本田(未)此女ハ養ハる者
 此女ハ義母ハ背ク苦バシ老る同ハ泉房
 塲の濱ト身ト授一老女有ト漢父見付て
 介抱ヒセ其甲斐何トの人ト探一カト
 或る大阪東阪町小志の事有り又其おとまり出生塲
 此女ハ目證ト本田ト来て尋一平三良ハ其母ト見て是ハ
 我ハ母のかんじふて(おとまり)の答(おとまり)塲の死人ハわろろりり置るハ
 尚本田方ハ今令りておとまりの行衛志るト此おとまり平生至て
 実氣有人ト近辺の評判も一いりる事ト家出(おとまり)ヤト
 人々不審の思ひ(おとまり)是新聞の(おとまり)ト
 尚亦(おとまり)のなり(おとまり)若聞(おとまり)ハ号(おとまり)ト速ト
 報知ト

新聞局 藤井時習舎

時習舎主人述
 笹木至人画

勸善懲惡錦画新聞22号 文庫10-8618-1

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

